

2024.10.26 第48回公開セミナー

塩竈市立病院の果たすべき役割

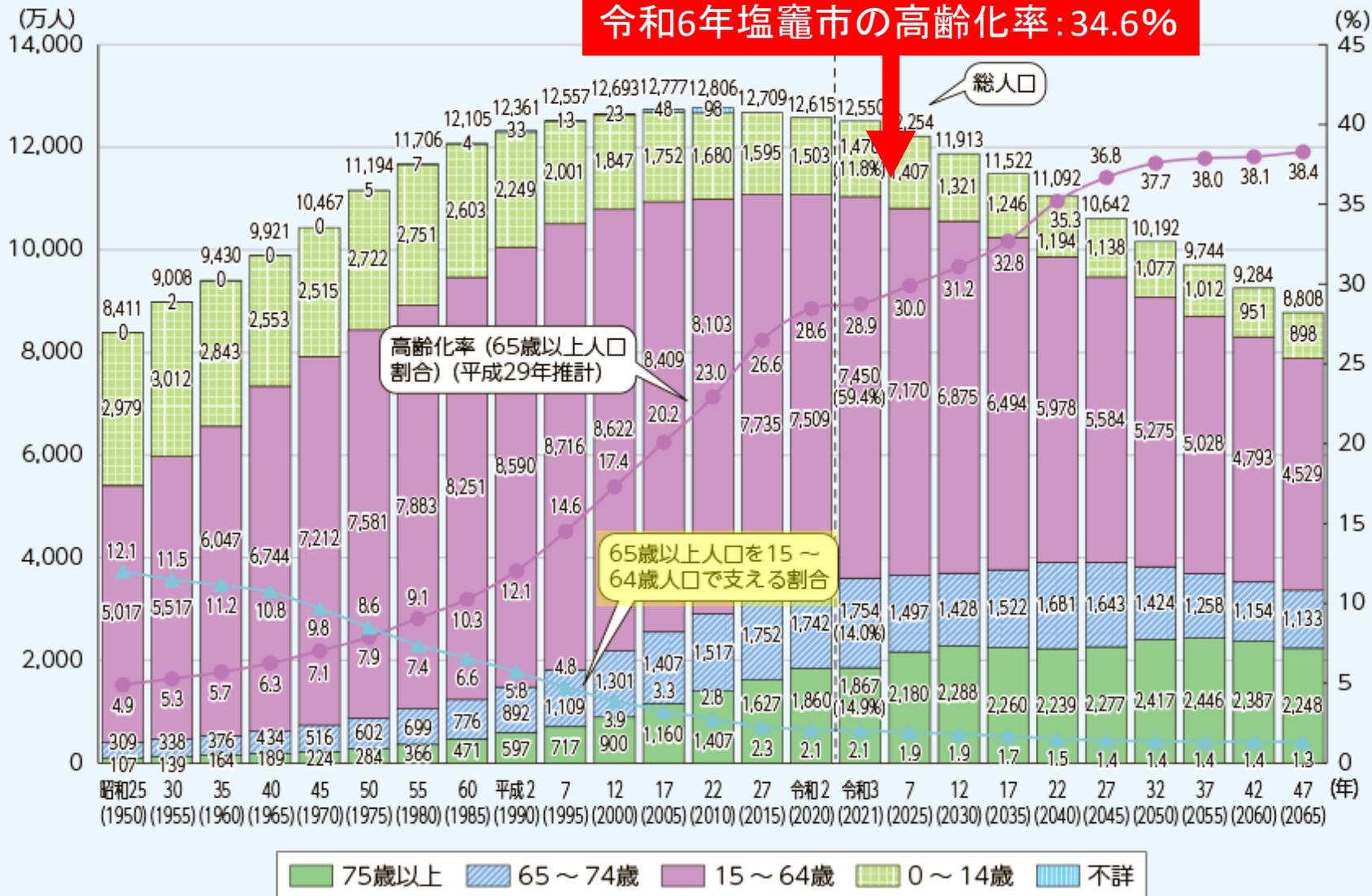
—機能分化と連携強化—



塩竈市立病院事業管理者
福原 賢治

内閣府(2022)「令和4年版高齢社会白書」

令和6年塩竈市の高齢化率: 34.6%



現在65歳以上の高齢者がピークを迎え、今後64歳以下の人口が急減
現役世代が高齢者医療を支えることが困難な時代になった

高齢者の増加による医療費高騰への対応が急務

【目標】

2016年に地域医療構想をスタートさせ、2025年に向けて超高齢社会に耐えうる医療提供体制を構築する

【内容】

- ①異なる医療機能（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）別に必要病床数を推計する
- ②現在の病床数と2025年の必要病床数を比較して修正する

【具体的な対策】

- ①全体の病床数を減らす
- ②過剰な急性期病床を減らして、不足している回復期病床を増やす

都道府県単位で進めるよう指示

病床数は万で表示

	2015年	2025年 の 見込み	2025年 の 目標	達成度
全病床数	125.1	→ 119.0	119.1	○
高度急性期病床	16.9	15.8	13.0	△
急性期病床	59.6	→ 52.5	40.1	×
回復期病床	13.0	→ 21.0	37.5	×
慢性期病床	35.5	29.6	28.4	○

全病床数は削減目標を達成したが、
急性期病床を削減し、回復期病床へ移行する構想は
思うように進まなかった

国は都道府県主導の取組が不十分と判断

2019.09 急性期医療(癌、心、脳、救急、小児、周産期)の
診療実績が**一定の基準に満たない病院**に**再編・統合**



規模の小さい病院が基準を満たさず、全国で大反発
厚生労働省の担当職員が各地域に出向いて**謝罪・説明**



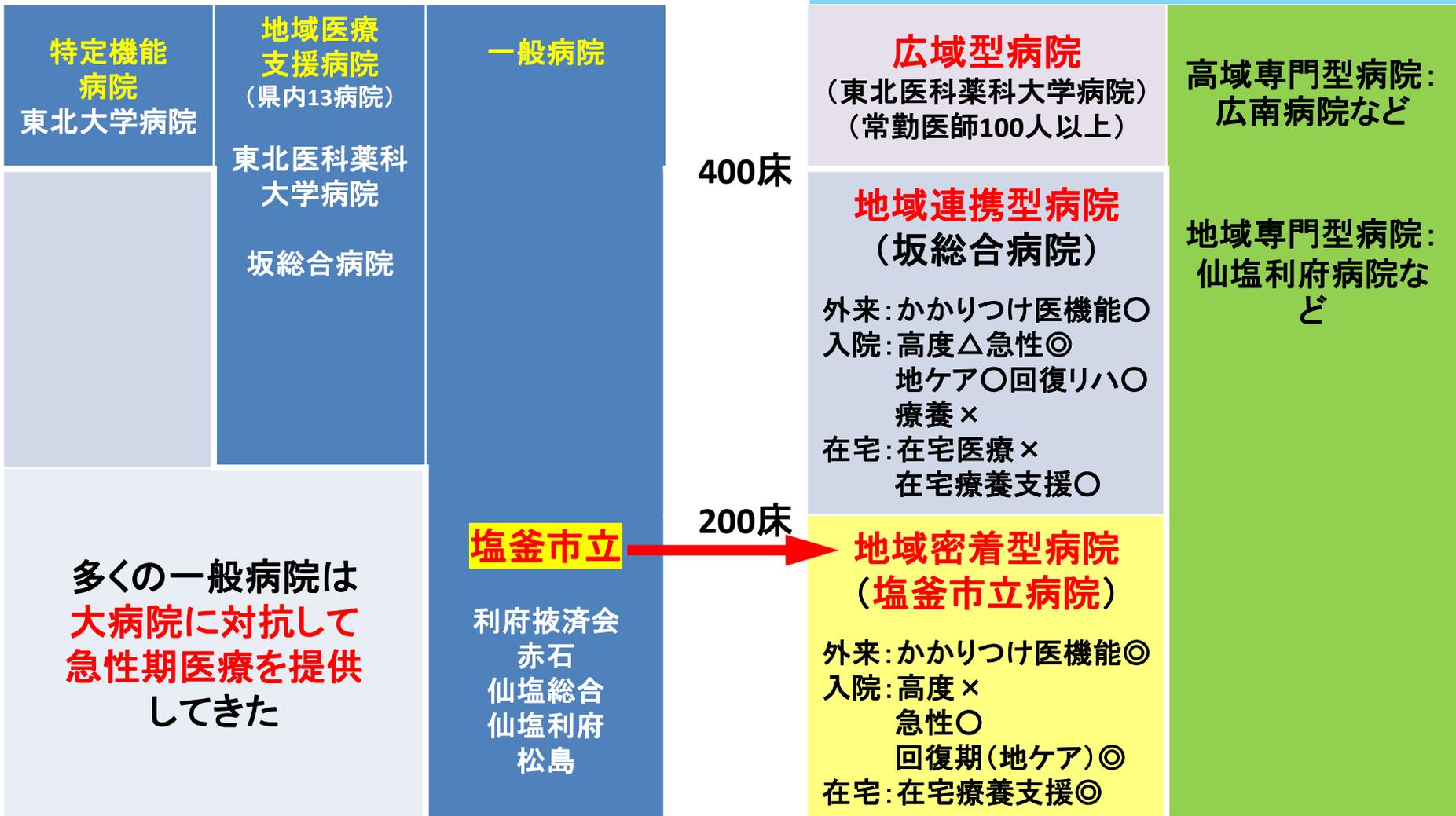
新型コロナウイルスの感染拡大・頻発する大規模災害
中小病院も大病院と共に医療提供



2022.03 「公立病院経営強化ガイドライン」

公立病院は**機能分化・連携強化**にて医療を継続

機能分化の考え方



多くの一般病院は
大病院に対抗して
急性期医療を提供
してきた

これまでの病院類型(医療法)

新たな医療類型

病床数は万で表示

	2015年	2025年 の 見込み	2025年 の 目標	達成度
全病床数	125.1	→ 119.0	119.1	○
高度急性期病床	16.9	15.8	13.0	△
急性期病床	59.6	→ 52.5	40.1	×
回復期病床	13.0	→ 21.0	37.5	×
慢性期病床	35.5	29.6	28.4	○

高齢者医療への対応は未解決
2025年の目標は2040年まで持ち越し、改革は続く

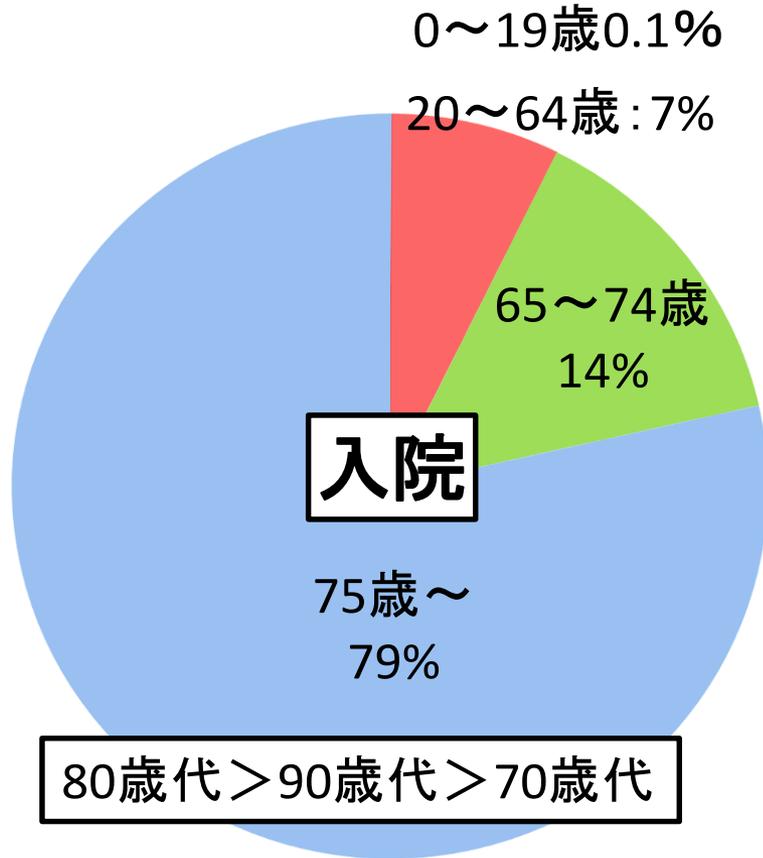
【機能分化＝役割分担＝果たすべき役割】

1. 高齢者医療
2. 救急医療
3. 消化器疾患
4. 予防医療（人間ドック、健診・検診、ワクチン）
5. 政策医療
（感染症対策、大規模災害対応、小児医療、在宅医療など）

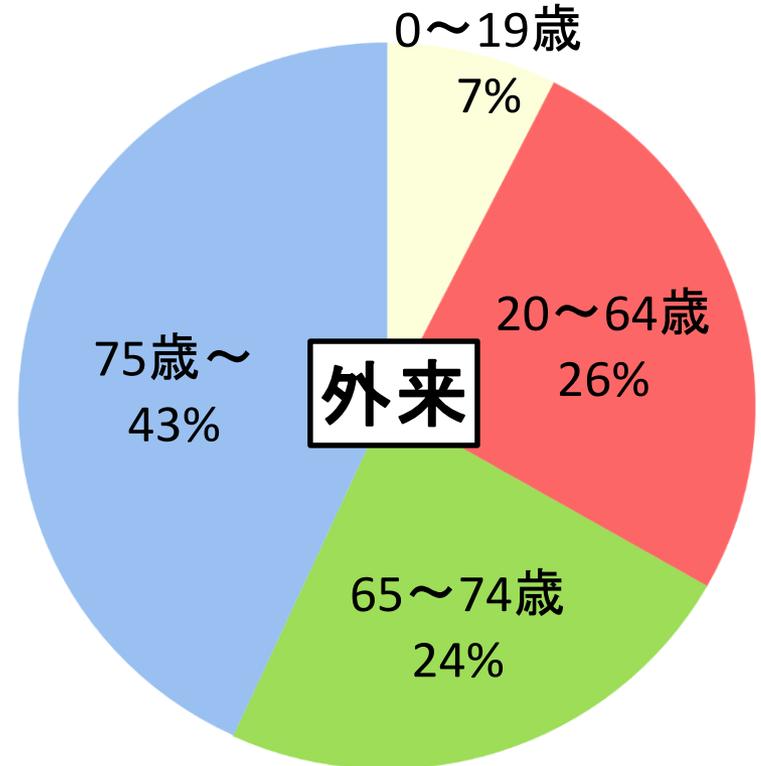
（前回の病院セミナーにおいて紹介）

1. 高齢者医療の診療実績(令和4年度)

入院患者42409人



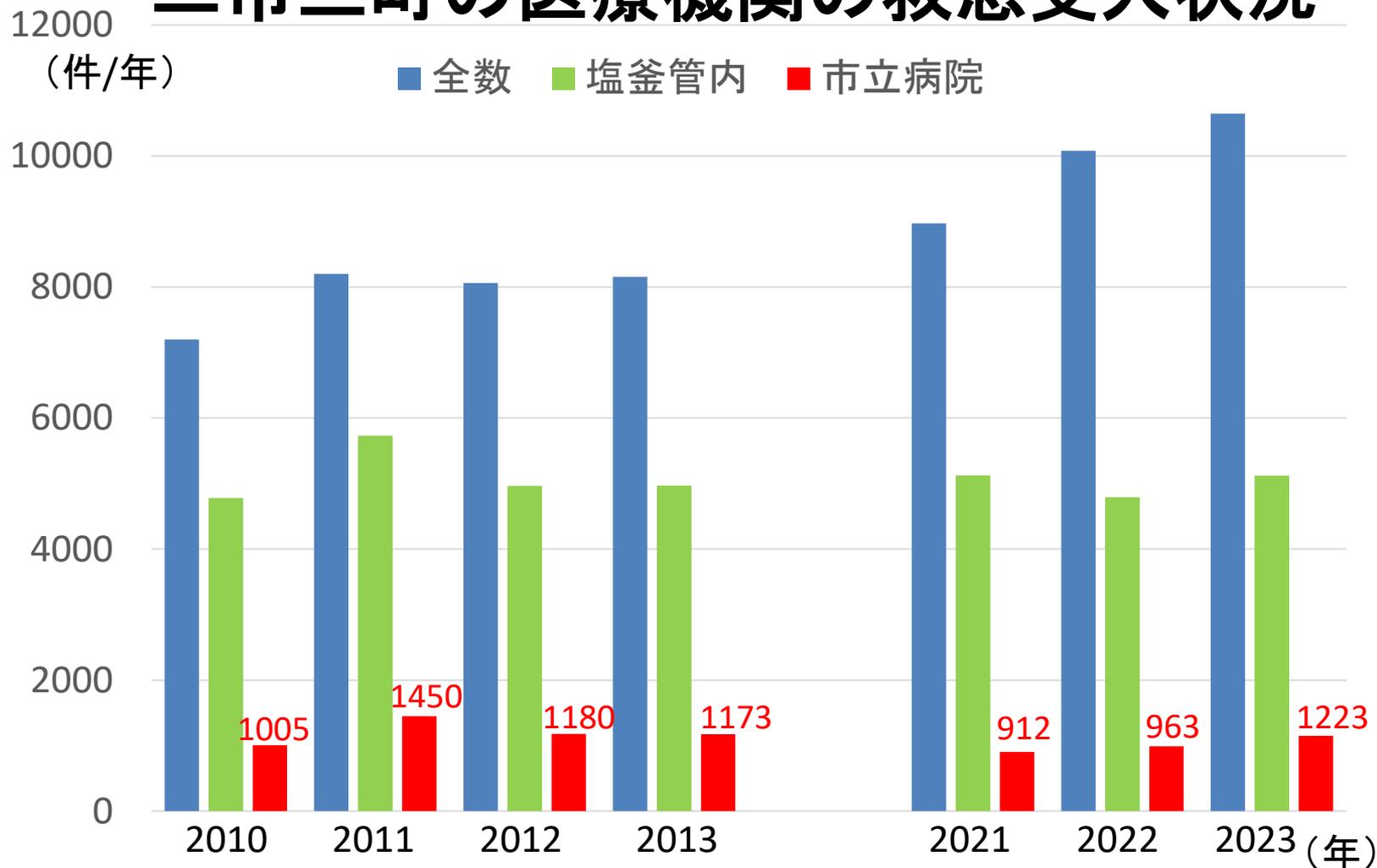
外来患者58797人



入院・外来ともに65歳以上の高齢者が圧倒的に多い
高齢者にとって近隣に病院があることは大きな安心につながる

2. 救急搬送件数の実績

二市三町の医療機関の救急受入状況



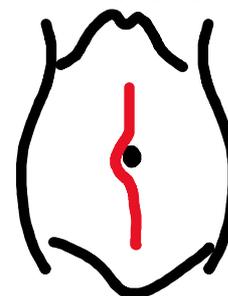
総数8000～10000件のうち市立病院は1000件前後担当

3. 消化器疾患等の診療実績(令和5年度)

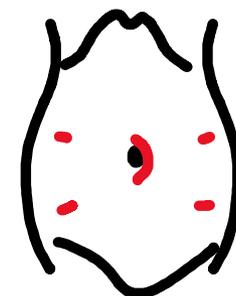
- **内視鏡検査 2530件**
 - 胃カメラ 1890件
 - 大腸カメラ 640件
- **内視鏡的治療 145件**
 - 大腸ポリープ切除 115件
 - 胆管手術 30件
- **全身麻酔の外科手術 120件**
 - 大腸癌、胆石症、虫垂炎、ヘルニア手術など
 - **腹腔鏡手術で痛みを軽減**



開腹手術



腹腔鏡手術



- **眼科手術(白内障、網膜光凝固) 96件**
- **皮膚科手術 114件**

4. 予防医療の実績(令和5年度)

早期発見・早期治療を行う

人間ドック・健康診断	6700件
乳がん検診	2100件
脳ドック	200件
予防接種	4200件

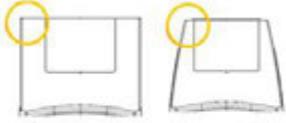
最新のCT



最新のMRI



左右方向撮影時、撮影台横に腕を預けることで
ポジショニングが良好になります



撮影台の角が先細り形状のため腋窩の痛みを
軽減することが可能です



上下方向撮影では中央、
左右方向撮影では上部へ
可動できます。照射野は
圧迫板に連動します。

『小乳房シフト圧迫板』



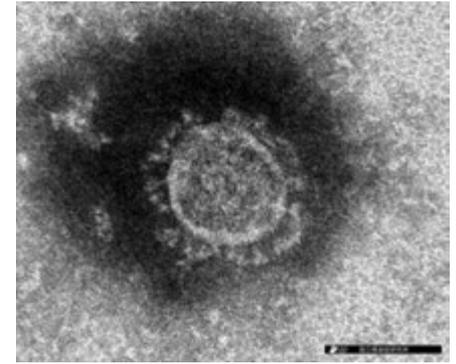
手が抜きやすい奥行き短い
圧迫板も使用しています。

痛みの少ない最新のマンモグラフィ



高性能の骨密度検査機器

新型コロナウイルス



2020.01.15：国内初の感染確認

市立病院ではコロナ検査17,000件（陽性3,400人）
軽症患者には外来で治療薬の処方
中等症患者には入院で抗ウイルス薬、酸素投与
重症患者は感染症指定医療機関へ紹介

感染対策専門の看護師を配置
（2024.8.1：感染症の専用病床を3床設置）

震災への対応

2011.03.11：東日本大震災

全職員が協力し、**来院した患者全員に対応**
2011年、2012年の病床利用率は100%以上



公立病院は、
災害時の緊急入院に
対応可能な病床を
一定数確保しておく必要がある

5. 政策医療の実績(令和5年度)

1. 感染症や大規模災害時の備え

2. 救急医療 1223件

3. 小児医療 平日外来(9時~16時)

4. 在宅医療

① 訪問診療 1560件

② 訪問看護 2150件

③ 訪問リハビリ 2200件

① 費用が収益を上回る**不採算医療**になっている

② 不採算医療を民間医療機関が担当することは難しい

③ 市立病院は**国**や**市**から**繰出(補助金)**を受けて、
これらの医療が地域に不足しないよう担当している

塩竈市の繰出金(令和4年度)

国からは
救急、リハビリ、感染対策、
医師確保などのため

基準内繰出: 3.5億円

国

1.7億円

市

市からは
小児医療、在宅医療に
基準外繰出: 0.7億円

1.7億円

1.8億円

0.7億円

病院

病院への繰出金は1.7億円 + 1.8億円 + 0.7億円 = 4.2億円

そのうち市が1.8億円 + 0.7億円 = 2.5億円を負担
(年間予算の1%、市民1人当たり6千円)

県内自治体病院の経営状況 (令和4年度)

少ない方が
優良

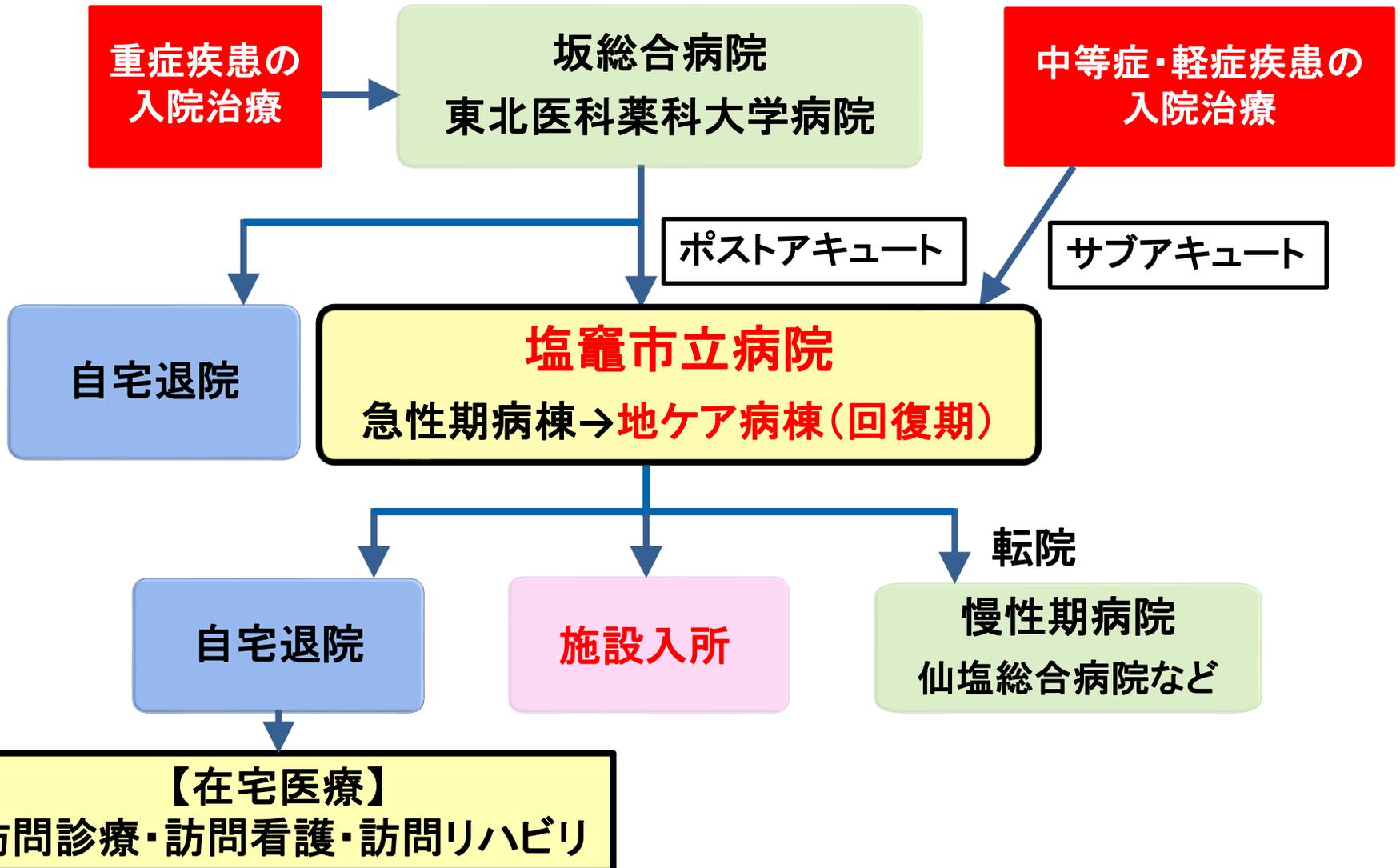
80%以上が
優良

	病院機能	病床数	医業収益 (億円)	繰入金 (億円)	繰入金を除いた 医業収益の割合 (%)
塩竈市立	地域密着型	161	24.5	4.2	86.2
A	地域密着型	180	26.9	7.1	61.6
B	地域密着型	199	23.7	7.7	66.0
C	地域密着型	198	36.8	8.9	78.1
D	地域連携型	269	49.9	7.8	83.6
E	地域連携型	310	92.7	9.2	88.8
F	地域連携型	336	79.0	10.4	79.0
G	広域型	467	158.9	18.6	84.2
H	広域型	494	206.2	16.5	93.2

塩竈市民のご負担は、他の自治体に比べて多くはありません。

入院の連携強化

連携強化とは様々な機能を持つ医療機関や施設と協力すること



外来の連携強化

連携強化とは様々な機能を持つ医療機関や施設と協力すること

常勤医師(15)

内科6 外科5 整形外科1 麻酔科1 皮膚科1 在宅科1

受診するすべての患者に
対応できない場合がある

院内紹介

院外紹介

東北大学病院
東北医科薬科大学病院、等

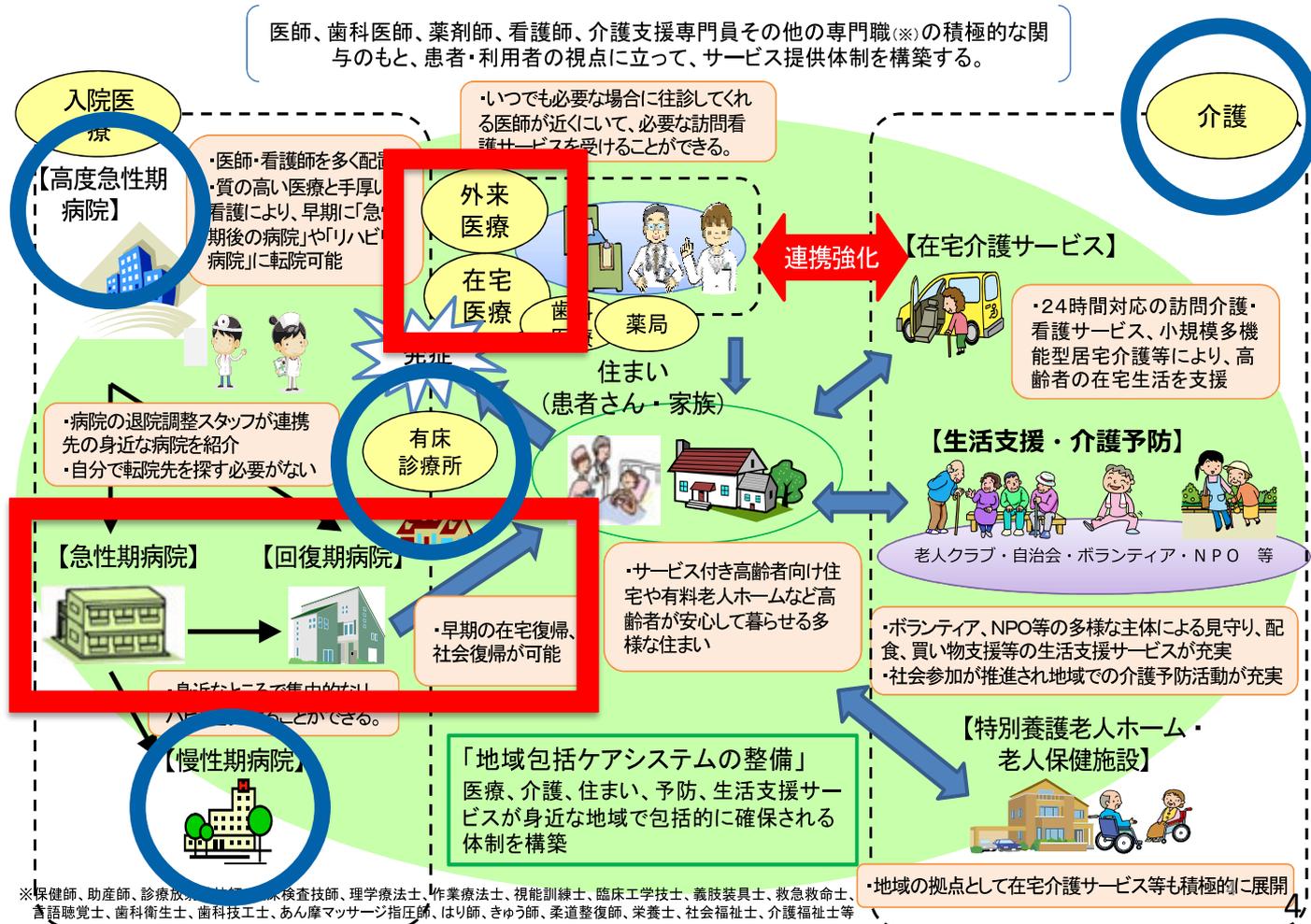
医師を派遣

- 糖尿病内科
- 呼吸器内科
- 腎臓内科
- リウマチ科
- 脳神経内科(認知症)
- 神経内科
- 心療内科
- 女性漢方
- 消化器内科
- 循環器内科
- 胃腸外科
- 小児科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 泌尿器科
- 婦人科
- 整形外科

専門外来

大学病院の専門外来が
市立病院の中にある

市立病院に求められている機能分化・連携強化



公立病院にしかできない地域医療の中心的役割を果たす

施設の老朽化が極めて深刻

外来棟 : 築40年
病棟 : 築52～65年

- 病院の法定耐用年数は39年。
- 多くの病院は40年以内に建て替えを行い、医療の進歩に対応した設備を整えている。
- 当院も6年前から病院建設の検討を行ってきた。

2018年：病院建設基礎調査事業（塩竈市）

→移転・新築

2020年：地域医療構想推進支援事業（宮城県）

→早期の建替が必要

2021年：病棟改築可能性調査（塩竈市）

→工期延長、費用増大、診療制限等の問題多数

→移転・新築が妥当

2024年（令和6年）2月議会で病院建設の延期が決定

→市の方針は極めて残念な結果

①老朽化にて医療継続が困難になる時期が迫っている

②老朽化した施設で働く医療従事者の確保は困難

果たしてこのままでよいのか？

老朽化対策を早急に行わないと、 市立病院が果たしている医療が失われる

- ① 高齢者に対して**治し支える医療**
- ② **救急患者**の対応
- ③ 消化器疾患を始めとする、令和の時代にふさわしい**安全で良質な急性期医療**
- ④ 予防医療による**健康のお手伝い**
- ⑤ **地域に必要不可欠な医療**(在宅・小児医療、リハビリ等)**の継続**

大規模改修による施設の老朽化対策 (令和6年度から開始)

○外来棟リニューアル



外来中央ロビーイメージ

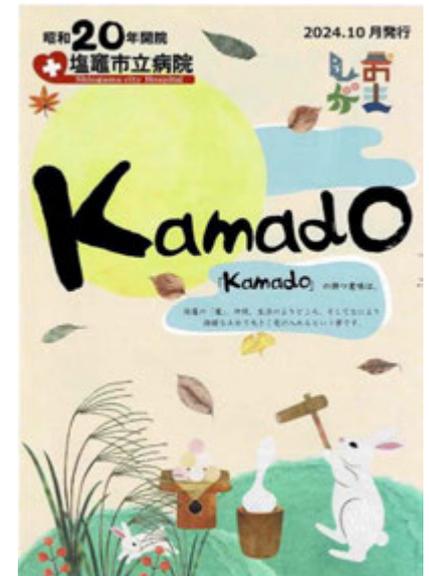
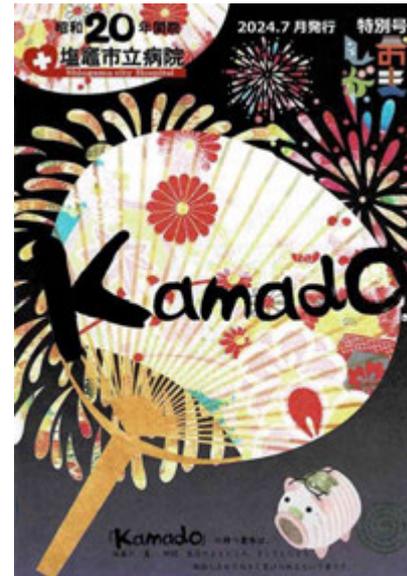
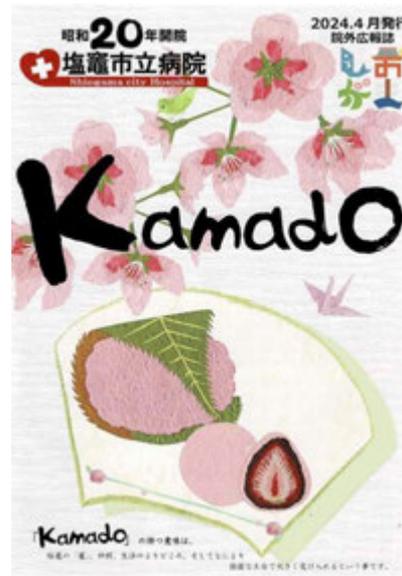
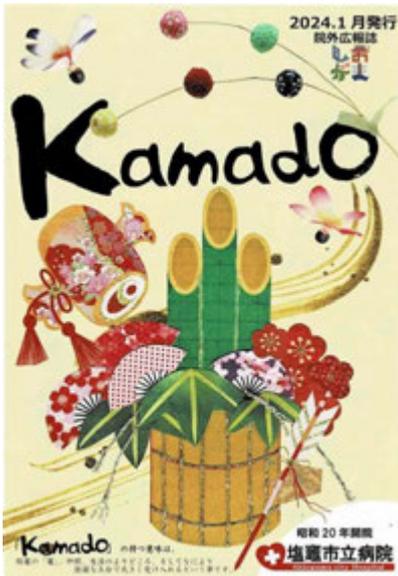
○病棟老朽化対策

病室整備イメージ



床、壁、天井、窓
酸素・吸引配管
カーテンレールの付け替え

塩竈市立病院は、より多くの患者様に信頼され、
利用していただく病院を目指します
いっぽうで病院の老朽化は深刻であり、
市民の皆様にご迷惑をかけないように対応します



ご清聴ありがとうございました